

鎌倉時代.2

名前

解答

解答

- 問1 源頼朝は、守護と地頭を置くことを朝廷に認めさせた。守護と地頭のうち国ごとに置かれたのはどちらか。
(守護)
- 問2 鎌倉に幕府が置かれた時代を何というか。
(鎌倉時代)
- 問3 源頼朝の妻は誰か。
(北条政子)
- 問4 御家人が京都や鎌倉の警備を行うことや、戦いが起こったときに戦うことを何というか。
(奉公)
- 問5 承久の乱を起こした上皇は誰か。
(後鳥羽上皇)
- 問6 承久の乱の後、京都に置かれた役所は何か。
(六波羅探題)
- 問7 問6の役所は、何を目的として置かれたか。
(朝廷の監視)
- 問8 承久の乱で上皇に味方した貴族や西日本の武士に対して、幕府はどのようなことを行ったか。
(貴族や武士の領地を取り上げ、その場所の地頭に東日本の武士を任命した)
- 問9 承久の乱の結果、幕府の支配範囲は、どのように変化したか。
(幕府の支配は、東日本だけでなく西日本にも及ぶこととなった)
- 問10 御成敗式目を制定したのは誰か。
(北条泰時)
- 問11 地頭と領主との間には、たびたび争いが起こった。この争いは、幕府によって裁かれ、土地の半分が地頭に与えられることもあった。このように、紛争解決のために、土地を分割したことを何というか。
(下地中分)
- 問12 鎌倉時代には、同じ田畑で米と麦を交互に作る農業が行われるようになった。これを何というか。
(二毛作)
- 問13 鎌倉時代の農業に関する次の記述のうち誤っているものはどれか。
(④)
- ①農作業に牛や馬が利用された。
- ②鉄製の農具が広まった。
- ③草や木を焼いた灰が肥料として使われるようになった。
- ④作物を栽培した後に農地を焼き払う焼畑農業が普及した。
- 問14 鎌倉時代、寺社の門前や交通の便利なところでは何が開かれるようになったか。
(定期市)

